



水のように

水の流れば地えず変化をする。
同じ水は次の瞬間にはその場にはなく、
とうとうと流れていく。

水の形は様々な変化をする。
器の形に合わせて
自身にその器形を変えていく。

けれど、

水であるという本質は決して変わることはない。

人の体はほとんどが水でできており、
人は水を欠かして生きることができない。

秋山立花は水のようにありたい。